

小麦・大豆の国産化の推進の執行状況（9月末現在）

令和4年度補正・5年度当初予算実施分について、
○ 国産小麦・大豆供給力強化総合対策で予算額64.5億円に対し、約50.4億円、
○ 産地生産基盤パワーアップ事業のうち国産シェア拡大対策で予算額80億円に対し、約66.6億円
の要望等があった。

国産小麦・大豆供給力強化総合対策＜令和4年度補正・5年度当初予算実施分＞

事業名	概要	割当額(要望額含む)	予算額
a. 麦・大豆生産技術向上事業	国産麦・大豆の増産に取り組む産地に対し、団地化等の取組への支援等のほか、営農技術を導入した場合に、 最大10,000円/10aを支援	46.7億円 追加要望調査中	60.5億円
b. 麦類供給円滑化事業	国産麦の安定供給体制を構築するため、一定期間保管する場合の 保管料・流通経費を支援	1.2億円	1.5億円
c. 新たな麦・大豆流通モデルづくり事業	国産大豆産地と実需者が連携して取り組む長期保管等の流通構造の転換に向けた 新たな流通モデルづくりを支援	1.5億円	1.5億円
d. 麦・大豆利用拡大事業	食品製造事業者に対して、国産麦・大豆の利用拡大に向けた 新商品の開発やプロモーション等を支援	1.0億円	1.0億円
合 計		50.4億円	64.5億円

産地生産基盤パワーアップ事業のうち国産シェア拡大対策＜令和4年度補正実施分＞

事業名	概要	割当額(要望額含む)	予算額
e. 麦・大豆機械導入対策	国産麦・大豆の増産に資する 農業機械等の導入 を1/2以内で支援	25.9億円	26.9億円
f. 麦・大豆生産・加工施設整備対策	国産麦・大豆の増産に資する 乾燥調製施設等の整備 を1/2以内で支援	33.1億円	33.1億円
g. 麦・大豆ストックセンター整備対策	国産麦・大豆の安定供給に向け、豊作時に保管し、不作時に安定提供する 調整保管機能を果たすストックセンターの整備 を1/2以内で支援	7.6億円	20.0億円
合 計		66.6億円	80億円

※ a、e及びfについては都道府県を通じた要望調査、その他事業については公募を実施。また、fの要望額については収益性向上対策分を含む。